



2020年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月14日

上場会社名 株式会社シンシア
 コード番号 7782 URL <https://www.sincere-vision.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 中村 研
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理部長 (氏名) 荒井 慎一

TEL 03(5695)7470

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第2四半期の連結業績(2020年1月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第2四半期	1,820	11.9	14	75.6	21	68.2	15	62.2
2019年12月期第2四半期	2,065	2.0	58		66		41	

(注) 包括利益 2020年12月期第2四半期 2百万円 (88.1%) 2019年12月期第2四半期 17百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第2四半期	2.51	2.48
2019年12月期第2四半期	6.63	6.55

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第2四半期	2,799	1,864	66.6
2019年12月期	2,881	1,887	65.5

(参考) 自己資本 2020年12月期第2四半期 1,864百万円 2019年12月期 1,887百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		0.00		4.00	4.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期(予想)配当金につきましては未定とさせていただきます。詳細は本日(2020年8月14日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2020年12月期の連結業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2020年12月期連結業績予想につきましては未定とさせていただきます。詳細は本日(2020年8月14日)公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年12月期2Q	6,862,200 株	2019年12月期	6,862,200 株
期末自己株式数	2020年12月期2Q	654,140 株	2019年12月期	654,140 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年12月期2Q	6,208,060 株	2019年12月期2Q	6,208,077 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の深刻な影響を被り、特に緊急事態宣言の発令を受けた休業要請や外出自粛の強まりを背景に、個人消費は大きく落ち込みました。世界経済におきましても新型コロナウイルス感染症の世界的な規模での拡大による経済活動の停滞により、急激な減速に転じ、経済回復への道のりは依然として定まらず、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

コンタクトレンズ業界におきましては、急速な少子高齢化に伴う人口減少が進んでいるものの、1日使い捨てタイプコンタクトレンズへのニーズのシフトが継続していることや近視人口の急激な増加・若年化が進んでいること、また、カラーコンタクトレンズ市場の拡大等もあり、コンタクトレンズ市場全体は緩やかながら成長基調にあるものと推測しております。しかしながら、価格、販路、広告戦略等々における各メーカー間の販売促進活動が激化していることに加え、新型コロナウイルス感染症拡大により外出自粛の動きが広がるなど当社を取り巻く環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループの状況は、当社ブランドのクリアレンズは、シリコーンハイドロゲル素材コンタクトレンズ「SINCERE 1DAY S」の売上高が253,482千円(前年同期比130.4%増)、ドラッグストア専売コンタクトレンズである「1Day Eye Well」の売上高が66,129千円(同16.4%増)などと好調に推移し当社ブランドのクリアレンズ全体の売上高は734,892千円(同19.1%増)となりました。一方で、当社ブランドのカラーコンタクトレンズの売上高は新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言発令に伴い、都道府県知事により外出自粛が要請され経済・文化活動が大きく制限されたことなどにより222,982千円(同46.6%減)となりました。また、プライベートブランド商品の売上高は販売各社における販売計画の遅延等により862,125千円(同16.3%減)となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高が1,820,000千円(前年同期比11.9%減)となりました。利益面は、販売促進費等の販売費及び一般管理費の削減に努めましたが、売上高及び売上総利益の減少をカバーするには至らず営業利益14,169千円(同75.6%減)、経常利益21,108千円(同68.2%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益15,561千円(同62.2%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,739,268千円となり、前連結会計年度末に比べ74,452千円減少いたしました。これは主に商品が217,904千円、その他に含まれる預け金が99,927千円それぞれ増加したものの、現金及び預金が233,151千円、受取手形及び売掛金が208,657千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は60,497千円となり、前連結会計年度末に比べ7,483千円減少いたしました。これは主に有形固定資産及び無形固定資産が減価償却により3,999千円、繰延税金資産が3,358千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、資産合計は2,799,765千円となり、前連結会計年度末に比べ81,935千円減少いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は719,782千円となり、前連結会計年度末に比べ29,193千円減少いたしました。これは主にその他に含まれる前受金が36,179千円、買掛金が22,013千円それぞれ増加したものの、未払法人税等が65,937千円、その他に含まれる未払給与が16,158千円それぞれ減少したことによるものであります。

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は215,000千円となり、前連結会計年度末に比べ30,000千円減少いたしました。これは長期借入金が30,000千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は934,782千円となり、前連結会計年度末に比べ59,193千円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は1,864,983千円となり、前連結会計年度末に比べ22,742千円減少いたしました。これは主に繰延ヘッジ損益が13,292千円、親会社株主に帰属する四半期純利益を15,561千円計上したものの、剰余金の配当が24,832千円あったことにより利益剰余金が9,270千円それぞれ減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は66.6%（前連結会計年度末は65.5%）となりました。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ233,151千円減少し、815,775千円となりました。各キャッシュ・フローの状況は、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、売上債権の減少額208,293千円等の増加要因に対し、たな卸資産の増加額236,839千円、その他の資産の増加額130,313千円等の減少要因により、166,487千円（前年同四半期は36,679千円の減少）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の増加は、外国為替差入証拠金の純増加額9,225千円等の減少要因に対し、デリバティブ取引による収入14,884千円の増加要因により、4,051千円（前年同四半期は126,533千円の減少）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、長期借入金の返済による支出30,000千円、配当金の支払額24,691千円の減少要因により、54,691千円（前年同四半期は27,320千円の減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、新型コロナウイルスの感染拡大が当社グループの業績に影響を与えることが見込まれるものの、現時点でその影響額を算定することが困難であるため、2020年2月14日に公表いたしました連結業績予想及び期末配当予想を一旦取り下げ、未定とさせていただきます。今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示させていただきます。

なお、詳細に関しましては、本日（2020年8月14日）公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,048,927	815,775
受取手形及び売掛金	703,759	495,101
商品	693,850	911,755
貯蔵品	114,868	133,987
前渡金	1,090	4,822
未収還付法人税等	—	5,757
デリバティブ債権	34,246	15,517
外国為替差入証拠金	203,680	212,905
その他	59,495	191,207
貸倒引当金	△46,198	△47,563
流動資産合計	2,813,720	2,739,268
固定資産		
有形固定資産	17,343	14,715
無形固定資産	9,753	8,382
投資その他の資産		
繰延税金資産	13,781	10,422
その他	28,406	28,075
貸倒引当金	△1,303	△1,098
投資その他の資産合計	40,884	37,399
固定資産合計	67,981	60,497
資産合計	2,881,701	2,799,765

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	252,466	274,480
短期借入金	200,000	200,000
1年内返済予定の長期借入金	60,000	60,000
未払法人税等	72,578	6,641
賞与引当金	9,240	10,359
その他	154,689	168,300
流動負債合計	748,975	719,782
固定負債		
長期借入金	195,000	165,000
長期預り保証金	50,000	50,000
固定負債合計	245,000	215,000
負債合計	993,975	934,782
純資産の部		
株主資本		
資本金	273,422	273,422
資本剰余金	353,422	353,422
利益剰余金	1,647,607	1,638,336
自己株式	△411,662	△411,662
株主資本合計	1,862,790	1,853,519
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	23,760	10,467
為替換算調整勘定	1,174	996
その他の包括利益累計額合計	24,935	11,464
純資産合計	1,887,726	1,864,983
負債純資産合計	2,881,701	2,799,765

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
売上高	2,065,124	1,820,000
売上原価	1,425,836	1,257,080
売上総利益	639,288	562,919
販売費及び一般管理費	581,248	548,749
営業利益	58,039	14,169
営業外収益		
受取利息	399	600
デリバティブ評価益	3,765	430
為替差益	2,919	8,139
受取補償金	4,288	—
その他	1,315	1,253
営業外収益合計	12,689	10,424
営業外費用		
支払利息	3,691	1,372
貸倒引当金繰入額	—	1,040
その他	592	1,072
営業外費用合計	4,283	3,486
経常利益	66,445	21,108
税金等調整前四半期純利益	66,445	21,108
法人税、住民税及び事業税	29,170	326
法人税等還付税額	—	△4,005
法人税等調整額	△3,855	9,224
法人税等合計	25,314	5,546
四半期純利益	41,130	15,561
親会社株主に帰属する四半期純利益	41,130	15,561

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	41,130	15,561
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△23,110	△13,292
為替換算調整勘定	△526	△178
その他の包括利益合計	△23,636	△13,471
四半期包括利益	17,494	2,090
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	17,494	2,090
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	66,445	21,108
減価償却費	3,831	4,329
のれん償却額	615	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△10	1,002
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,786	1,113
受取利息及び受取配当金	△399	△601
支払利息	3,691	1,372
為替差損益(△は益)	8,787	1,009
デリバティブ評価損益(△は益)	△3,765	△430
破産更生債権等の増減額(△は増加)	—	204
売上債権の増減額(△は増加)	42,507	208,293
たな卸資産の増減額(△は増加)	△249,091	△236,839
前渡金の増減額(△は増加)	1,731	△3,732
仕入債務の増減額(△は減少)	106,901	22,212
前受金の増減額(△は減少)	14,142	36,179
その他の資産の増減額(△は増加)	△60,599	△130,313
その他の負債の増減額(△は減少)	△13,012	△25,220
その他	84	84
小計	△75,352	△100,225
利息及び配当金の受取額	226	427
利息の支払額	△3,418	△1,382
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	41,865	△65,305
営業活動によるキャッシュ・フロー	△36,679	△166,487
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,181	—
無形固定資産の取得による支出	△2,689	△330
デリバティブ取引による支出	△8,220	△27
デリバティブ取引による収入	5,197	14,884
関係会社貸付けによる支出	—	△1,250
敷金及び保証金の差入による支出	△1,786	—
差入保証金の回収による収入	1,255	—
外国為替差入証拠金の純増減額(△は増加)	△118,099	△9,225
その他	△10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△126,533	4,051
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	300,000	—
長期借入金の返済による支出	△15,000	△30,000
自己株式の取得による支出	△25	—
配当金の支払額	△12,295	△24,691
財務活動によるキャッシュ・フロー	△27,320	△54,691
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,779	△16,024
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△195,312	△233,151
現金及び現金同等物の期首残高	992,771	1,048,927
現金及び現金同等物の四半期末残高	797,458	815,775

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大による緊急事態宣言の発令に伴う外出自粛等の影響を受け、売上高が減少していましたが、緊急事態宣言解除後は一定の回復が見られております。

このような状況の中、今後も売上高は徐々に回復していくものと仮定して、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。